

令和2年度事業報告書

事業概要

令和2年度は、各事業とも新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を大きく受けた1年となりました。公益目的支出計画に関する事業の中で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う消防特別警戒の熱中症予防対策等への事業協力が、同大会の延期に伴い次年度に繰り越しとなった他、毎年協賛している東京消防庁剣道大会が中止となりました。

また、全国消防救助技術大会の中止に伴い出場隊員への栄養補給品の提供が未実施となるなど、8つの協力事業が延期または中止となりました。このような中で、月刊誌「東京消防」をはじめとする防火防災に関する図書の発行等に加えて、音楽隊の新夏演奏服の購入や、即応対処部隊発隊式に対する支援などを行ったほか、駅伝・ロードレース大会はリモート形式で開催され、参加者に対する記念品の提供を行いました。

公益目的支出計画以外の事業では、例年どおり都民の生命・身体・財産を守ることを使命とする東京消防庁職員が安心して職務に邁進できるよう、団体保険事業及び慶弔援護事業等を行いました。

1 東京消防庁が行う諸施策に対する協力事業(定款第4条第1号事業)

(1) 東京消防庁の事業に対する協力

ア 健康体力増進事業に対する協力

東京消防庁体育文化会が主催する「令和2年度東京消防庁総合中央競技大会の中止に伴う代替大会」(10月から翌令和3年3月)の参加者に対して参加賞、記念品等を提供しました。また、人事部長が計画する元気回復行事として、リモート形式のロードレース大会及び駅

伝競走大会(翌令和3年3月)が開催され、参加者に対して、参加賞、賞品等を提供しました。

イ 消防技術向上事業に対する協力

国際消防救助隊合同訓練(翌令和3年1月、東京農業大学奥多摩演習林他)に補給物品等を提供しました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大のため、全国消防協会救助技術大会は中止になりました。

ウ 教養事業に対する協力

(ア) 職員・家族総合文化展(8月～9月、東京消防庁スクワール麴町1階ロビーで開催)及び消防職員意見発表会庁内選考会(翌令和3年2月、映像による審査)の参加者に記念品等を提供しました。

(イ) カラーガーズ隊員に対するマーチング指導者研修(翌令和3年2月)への派遣を支援しました。また、消防学校の学生相談(年度内10回)に女性相談員を派遣するとともに初任教養修了者に記念品を提供しました。

また、資格取得技能講習については、玉掛け技能講習(12月)を支援しました。

(ウ) 消防学校学生の新型コロナウイルス感染症対策等に対する協力として、全国各地で在宅勤務中の消防学生に対し、学習支援に伴う教材の送付に係る支援を行いました。

(エ) 退職説明会の中止に伴い、令和2年度退職予定者に送付する資料等の作成に協力しました。

(2) 消防機器等の研究開発及び防災機関が行う行事に対する協力

ア 東京消防庁消防技術安全所が行う研究開発事業に対する協力

各種機器の改良開発、火災鑑定に関する研究、消防隊員の安全管理に関する研究、木造建物の防火性能に関する研究などに対して、研究用資料及び実験用物品等を提供しました。

イ 東京消防庁が行う行事等に対する協力

(ア) 東京消防出初式(翌令和3年1月、東京臨海広域防災公園)の運営に対して協力しました。

(イ) 即応対処部隊発隊に伴い、資器材を提供しました。

(3) その他

音楽隊の新夏演奏服等の購入を支援しました。

2 防火防災に関する普及啓発事業(同条第2号事業)

(1) 「東京消防」の出版

防火防災に関する出来事、消防関係法令の解説、消防実務及び最新消防機材の紹介等を

内容とする月刊誌「東京消防」を東京消防庁監修の下に、12回計265, 200部発行し、会員、消防関係機関に無償配布し、同庁図書資料室(以下「資料室」という。)等に寄贈するとともに購読希望者に有償配布しました。

また、平成28年度からスマートフォンにダウンロードしたアプリにより音声や動画が視聴できるARを導入していますが、令和2年度は18本となりました。

(2) 「会員録」の発行

会員の円滑な業務執行等に資するため、都内全消防機関及び消防関係機関の所在、電話番号、所属職員の職・氏名を網羅した「会員録」を21, 400部発行し、会員及び消防関係機関に無償配布するとともに資料室に寄贈しました。

(3) 「職員手帳」の発行

会員の円滑な業務執行及び協会が提供している各種サービス等の有効活用に資するため、消防統計、地震災害年表、当該年の防災行事、交替制勤務職員の勤務サイクル並びに協会事業概要及び問合せ先等を掲載した「職員手帳」を21, 700部発行し、会員に無償配布しました。

3 消防職員等の保健衛生及び技能向上に係る事業(同条第3号事業)

(1) 予防接種等の支援

インフルエンザ等の集団感染型疾病の予防接種等に要した費用の一部を12, 872名の会員及び家族等に対して助成しました。

また、ワーク・ライフ・バランス支援事業内容の追加として「新型コロナウイルス感染症拡大防止宿泊助成」を行い、助成件数は4件でした。

なお、最終年となった禁煙外来治療に要した費用の一部助成については、令和2年度の助成はありませんでした。

(2) 資格取得の支援

職務に必要な資格・技能等の取得に要した費用の一部を250名の会員に対して助成しました。

なお、退職を間近に控えた会員の再就職と当該職務遂行によって消防行政に資することが期待できる資格を追加助成対象とし、令和2年度は7名に対して助成しました。

(3) 書籍購入の支援

協会売店及び協会の斡旋で書籍を購入した費用の一部を2, 845名の会員に対して助成しました。

4 会員及び家族の教養・文化等に関する事業(同条第4号事業)

(1) 厚生施設の運営

会員及び家族の健康増進に資するため、厚生施設「フリースペース錦華(東京消防庁スクワール麹町3階多目的室)」、「麹町職員食堂(東京消防庁スクワール麹町2階職員食堂)」、「消防学校食堂」及び「グリーンパル湯河原」並びに「那須山荘」を運営しました。本年度はいずれの事業も新型コロナウイルス感染症感染拡大や緊急事態宣言等の影響を大きく受け、営業を休止せざるを得ない状況となりましたが、感染症の拡大防止と事業の両立を図るため、以下の取り組みを実施しました。

フリースペース錦華では、「低濃度オゾン発生装置」の設置、アルコール消毒の実施等の感染防止対策を再徹底し再開しました。麹町食堂では、同様に夜の職員クラブを休止した他、昼食時の一般客の利用を制限し、併せて次亜塩素酸ナトリウムによる消毒の実施、アクリル板の配置、椅子の撤去による収容人員の制限等の措置を実施しました。

また、両施設とも飲食店に対する認証制度である「東京都感染防止徹底宣言ステッカー」及び「千代田区新しい日常店」マークを取得し、常に都や区のガイドラインに基づく感染予防対策を実施しました。

グリーンパル湯河原では、同様に大きな影響を受ける中で、会員等の利用促進に向けた広報、お土産券の提供並びに抽選会キャンペーン等を推進したほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設内の共用部分をはじめ各部屋、浴室などの特別清掃並びに消毒の実施、レストラン内にアクリル板の配置、部屋食用の什器の整備、受変電設備の更新工事などを行い、安全性、快適性を向上させました。

なお、消毒、清掃等に係る休館日を設けたことにより、開設期間が通算187日間の営業となりました。

各施設の利用人員は、東京消防庁職員以外の者を含め次のとおりです。

フリースペース錦華	宴会 414名 会議 3,799名 合計 4,213名
麹町職員食堂	昼食 15,349名 喫茶 313名 夜食 327名 合計 15,989名
消防学校食堂	初任学生725期生～727期生 合計 498名
グリーンパル湯河原	3,642名
那須山荘	1,053名

(2) 販売事業

ア 売店販売及び出店販売

会員の業務執行及び職場生活の利便に資するため、本部庁舎及び消防学校の売店において防火防災関係図書・用品及び日用品等を販売しました。

また、例年実施している東京消防出初式、消防技術安全所一般公開、消防学校実科査閲等の各行事会場での特別売店による消防グッズ等の販売は行事の中止及び庁の要請等により中止しました。

イ 指定店紹介及び斡旋販売

会員の豊かな家庭生活を支援するため、会員割引により各種商品・サービスの提供を行う指定店の紹介及び会員特別価格による各種商品の斡旋販売を行いました。特に、住宅の斡旋については、会員が十分な情報を効率的に得られるように東京消防信用組合の協力を得て住宅関連業者11社合同による住宅相談会並びに特別相談会(年度内2回、計31名参加)を開催しました。

また、指定店紹介及び斡旋販売を効果的に行うため、ライフサポートガイド「2020指定店のしおり」及び福利厚生ニュース(8月を除く毎月発行)を全会員に配付しました。

なお、平成28年度から一般社団法人東京都消防協会が賛助会員となったことから、その構成員である都内の消防団員(25,000人)にも隔年(西暦の偶数年)で同ガイドを配布することとしています。

新たな指定店を含めた登録店数は令和2年度末で213となりました。

ウ 書籍販売

東京消防庁編集のフルカラー版「東京の消防白書2020」の書籍を求める声に対応するため、本庁売店、消防学校売店及び新宿の都庁舎内書店において販売しました。

(3) 団体保険事業

会員及び家族の病気や怪我及び不慮の事故等への備えをサポートするため団体保険事業を行いました。

職員・家族に対する定期募集及び消防学校入校生の募集による令和2年度の新規加入者及び更新者数は次のとおりです。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、8月と10月の消防学生の入校がなかったために募集人員が減少しました。

	定期募集	消防学校入校生募集
新グループ保険	11,408名	527名
積立年金保険	7,822名	16名
傷害保険	14,402名	527名

また、団体保険のほか、個人で契約している保険や家族構成により必要となる保険の内容等、職員・家族の保険に関する様々な疑問にお応えできる第2回「ファイナンシャルプランナーによる保険相談会」を開催し、出席した職員・家族から大好評を得ました。

(4) 共助事業

ア 育英事業

新たに会員及びその家族33名に対し、無利子による奨学金の貸し付けを行いました。

なお、今年度末現在、213名の会員が貸付を受けています。

イ 慶弔援護事業

会員及び家族に対する弔慰金、災害見舞金、傷病見舞金、永年勤続賞受賞祝品、結婚祝品及び退会せん別金を贈呈しました。

なお、緊急事態宣言の発令を受け、永年勤続賞受賞祝品及び結婚祝品の有効期限を相当期間延長し対応しました。

その内訳は次のとおりです。

弔慰金	20名	災害及び傷病見舞金	52名
永年勤続賞受賞祝品	649名	結婚祝品	622名
退会せん別金	717名		

ウ スポーツ・文化施設等利用支援事業

会員及び家族がスポーツ・文化施設等を利用する際に要した費用の一部を、延べ337名に対して支援しました。

また、会員及び家族が東京ディズニーリゾートを利用する際に要した費用の一部を、延べ4,522名に対して支援しました。

エ 夏季契約施設提供事業

平成25年度末をもって廃止した下田荘事業の代替えとして、普通会員が夏季休暇期間中に協会が指定する宿泊施設を利用した場合、会員本人一人一泊に限り、その宿泊代の助成を行う事業を実施していますが、令和2年度は168名の会員に対して助成をしました。

オ 内科診療所事業

本部庁舎12階の東京消防協会診療所において、月、火、水曜日を診療日として一般都民を含めて延べ205名の方に対し内科診療、投薬及び血液検査のサービスを提供しました。

また、11月には1,213名の会員にインフルエンザ予防接種を行いました。

5 管理・運営事項

理事会及び評議員会については、以下のとおりです。

理事会及び評議員会を次表のとおり開催し、議案は事務局提案の内容で議決承認され、報告事項についても事務局説明内容で了承されました。

理事会	評議員会
第1回臨時理事会(決議の省略) 日程 令和2年4月8日 議案 「評議員及び役員の一部辞任に伴う後任候補者の推薦決定」の件	第1回臨時評議員会(決議の省略) 日程 令和2年4月17日 議案 「評議員及び役員の一部辞任に伴う評議員及び理事の選任」の件
第1回通常理事会(決議の省略)※ 日程 令和2年5月28日 議案 「平成31年度事業報告及び財務諸表」の	定時評議員会 日程 令和2年6月24日 議案 「平成31年度財務諸表承認」の件

件、「平成31年度公益目的支出計画実施報告書」の件、「令和2年度定時評議員会開催」の件	報告「平成31年度事業報告承認」の件、「平成31年度公益目的支出計画実施報告書承認」の件
第2回臨時理事会(決議の省略) 日程 令和2年10月8日 議案「理事の一部辞任に伴う後任候補者の推薦決定」の件	第2回臨時評議員会(決議の省略) 日程 令和2年10月19日 議案「理事の一部辞任に伴う後任候補者選任」の件
第3回臨時理事会(決議の省略) 日程 令和3年1月25日 議案「臨時評議員会招集」の件	
第2回通常理事会(決議の省略)※ 日程 令和3年3月18日 議案「令和3年度事業計画及び収支予算」の件 報告「令和3年度役員報酬」の件	第3回臨時評議員会(決議の省略)※ 日程 令和3年3月18日 議案「令和3年度役員報酬」の件 報告「令和3年度事業計画及び収支予算」の件

※ 第1回通常理事会、第2回通常理事会及び第3回臨時評議員会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、決議の省略により実施されました。